

最終回 よい良い大岡にするために 市民ワークショップ「公共施設の将来像」

全戸配布

をテーマにグループ討論を行いました

2月11日（日）大岡支所大会議室で、第5回「より良い大岡にするために」市民ワークショップを開催しました。

大岡の公共施設の将来像を考えるグループ討論の後、意見発表を行いました。

住民自治協議会の西山会長のあいさつ、樋口副市長から御礼のあいさつの後、参加者全員で記念撮影を行い、大岡地区のワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。（意見発表の内容は次ページをご覧ください）

公共施設の具体的な再配置に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいります。



- ◇地域をより良くする取組の検討＝小さな拠点づくりについても様々な提案をいただきました。
- ◇いただいた提案をもとに、取組の実現に向けて話し合う検討会の開催を予定しています。
- ◇検討会の開催につきましては、大岡支所または都市政策課にお問い合わせください。

市民ワークショップ、小さな拠点づくり、公共施設に対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。

今回のワークショップは、大岡地区住民自治協議会のご協力のもと、公募及び、各区からご参加いただいたメンバーで、熱心に討論を重ねていただきました。

住民自治協議会に託児の手配もいただきました。ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

大岡支所 電話：266-2121
(小さな拠点づくりについて)

都市政策課 電話：224-5050
(公共施設について)

公共施設マネジメント推進課
電話：224-7592





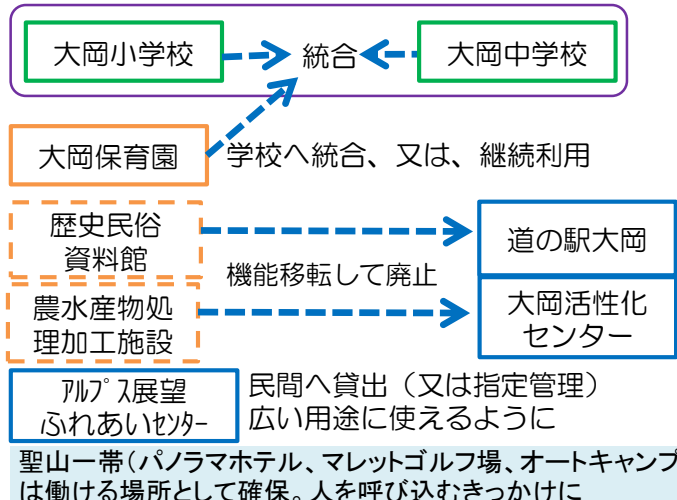
大岡地区の公共施設の一部です



公共施設の将来像に対する意見の概要をご紹介します

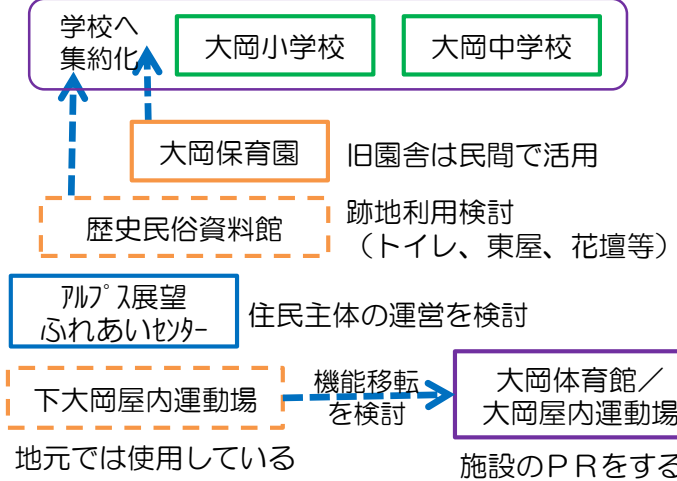
以下に、建物を移す案を で、機能を移す案を で、表しています

Aグループ コンセプト【地区内外の交流が進むような、公共施設再配置】



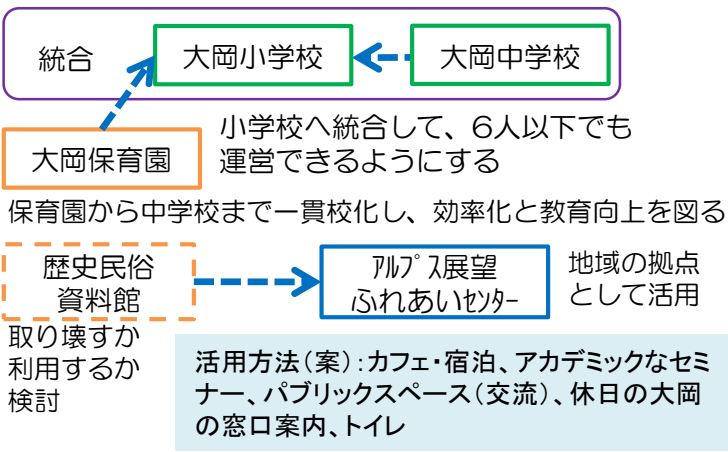
- 《効果》
- 魅力的な施設、地域を作ることで、地区外の人が大岡に来るようになる
 - 施設統合により利用の幅が広がり利用率が高まる
 - 雇用の場生まれる
- 《課題》
- 地区内の交通の便が悪い
 - 活性化や施設管理の担い手の発掘が必要
 - 定住に繋がらない。働く場所が少ない
- 《自分たちにできること》
- 生産物を積極的に出す。PR
 - 小さな拠点づくりの取組に、これからも協力する
- 市営住宅、教員住宅は大岡地区全体で集約化を検討

Bグループ コンセプト【必要な施設を残して、さらに有効活用の検討】



- 《効果》
- 住民が施設管理に携わることで、意識が高まる
 - 周辺環境と施設の管理ができる
 - 住民がかかわることで、大岡ならではのまちづくりができる
- 《課題》
- 学校の施設を把握する。他の施設も設備等を把握する必要がある
 - 公共施設に関する規制緩和
- 《自分たちにできること》
- 施設整備のボランティア。住民主体の施設運用
- 道の駅等、ツーリングや釣りの情報発信交流の場にする
教員住宅は民間へ売却する

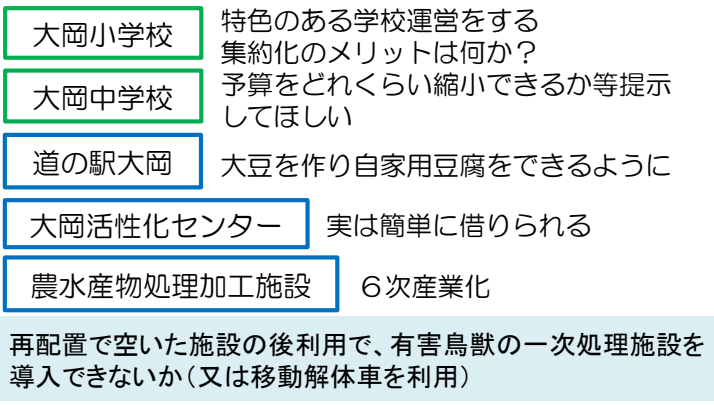
Cグループ コンセプト【みんなで知恵を出し合い行動する大岡 多様な人が集い自由に語り合える大岡】



- 《効果》
- ・ 保育園を少人数でも運営できる
 - ・ 外から人を呼ぶための施設が整う
 - ・ 住民の集まる場所ができる
- 《課題》
- ・ 情報が住民に届かない。行政との風通し
 - ・ 制度を見直す(園児数の基準)
 - ・ カフェを開くための人集め
- 《自分たちにできること》
- ・ 展望ふれあいセンターでカフェの運営

教員住宅は廃止し解体

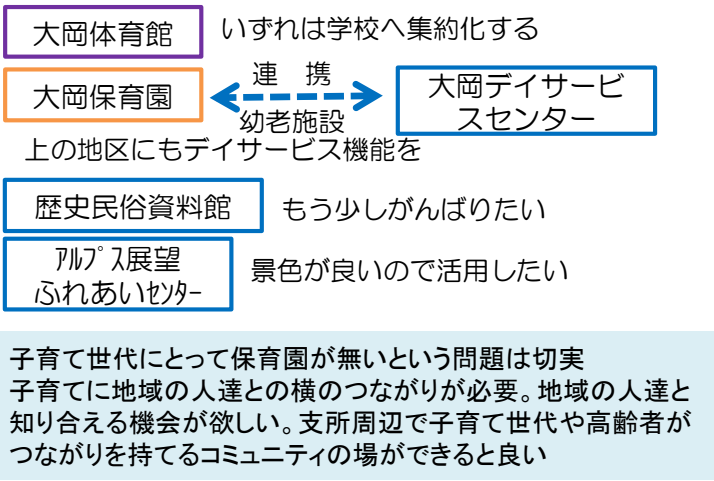
Dグループ コンセプト【なくす、減らすを考える前に 使用範囲を広げて大いに活用】



- 《効果》
- ・ 施設情報、利用方法、借り方を住民に周知する。使い方が分かれば稼働率が上がる
- 《課題》
- ・ すぐを出す(積極的に施設を利用する意識を、住民に広げる必要がある)
 - ・ 施設が減らない
- 《自分たちにできること》
- ・ 施設を借りるためのソフト面の整備

教員住宅は廃止し解体

Eグループ コンセプト【子育てしたくなる大岡】



- 《効果》
- ・ 施設を複合化することで、皆が集まれるフリースペースを生みだして、保育園的機能を持たせる
- 《課題》
- ・ 保育園が休園中
- 《自分たちにできること》
- ・ 子どもを産む。三つ子を産む

市営住宅等も建て替えて有効活用を図る

菜園滞在施設等は学校・保育園のためにも無くせない

パノラマホテル周辺施設も有効活用する





参加者アンケートの主な意見をご紹介します

- ◆アルプス展望ふれあいセンターは、これから是非、住民主導で活用したい。
- ◆公共施設を借りるという事に対して、難しいというイメージを持っている人が多い。
- ◆公共施設について改めて考えさせられた。こんなに沢山あったんだと言うのがまず思ったこと。また、あまり利用していないということも感じた。どの施設がどう使えるのか聞き、自分にできそうな事からやってみようと思う。
- ◆普段自分の中だけで感じていたことを、ワークショップに参加して色々な方とシェアできたことや、色々な方の視点を知ることが出来て、自分の視野が少し広げられた。
- ◆今回の5回の内容は、今まで多かれ少なかれ話し合われてきたと思う。ここから先の段階に進むため、さらに具体的な話し合いにしていくために、住民と行政が連携していけたら良いと思う。
- ◆このワークショップのような話し合いが、日常の中でできることが一番良いと思う。そういった機会を考えて欲しい。
- ◆高齢化に伴って住民の意欲が低下して消極的になっている。子どもの声のする地域にしたい。
- ◆大岡の良さをもっと積極的に発信して、他県の人にも興味を持ってもらう。若い人の仕事ができる場所を積極的に紹介して欲しい。ワークショップをきっかけにした取組を期待する。
- ◆公共施設をどうにかしようとするのは住民がやることなのか。公共施設の話と地域活性化の話は最初から別に考えてもらいたい。
- ◆今回ワークショップで言いっぱなしで終わりと思いきや、引き続き、話し合う機会があるというので楽しみにしている。
- ◆休日返上で、様々な準備に携わってくれた全ての方々に感謝です。託児もあって本当にありがたかったです。



【住民自治協議会 西山会長のあいさつ】

皆さん積極的に議論いただき、今後時間がたって「私たちの意見が通って大岡が良くなった」と思えるようにしたい。第1回目から取り組んでいただいた皆さんの思いを、もう少し突き詰めて、そして発展させていきたい。もう少しより良い大岡づくりを進めていくためのチームづくりをして、ルールに乗せて行きたいと思うので、協力いただける方には是非とも参加をお願いしたい。市だけでなく県・国も含め、色々な力を借りながら、発展できる、住み良い、支え合える、穏やかな、自然に恵まれた大岡になっていけばありがたい。

【樋口副市長から御礼のあいさつ】

大岡地区では、小さな拠点づくりという、他地区では取り組んでいないテーマを入れて5回にわたるワークショップでの話し合いをいただき、関係各位に心より御礼申し上げます。

小さな拠点づくりは、どのように地域での暮らしを維持していくか考えていく。公共施設の適正化は全国的な課題で、人口減少の時代に合わせて、いかに賢く縮ませるかという議論であり、今回のワークショップはそのキックオフ。来年度以降、個別施設計画を作っていくが、いただいた意見も参考にさせていただく。今までは一つの目的で施設を作ってきたが、これからは多目的に使うことで活力や賑わいを生み出していくことが必要。もう一つは地域の中だけで考えずに、広く長野市全体で考えていく視点も必要だと思う。

今回のワークショップの話を、家庭や地域に持ち帰って、話していただけると、今後に生きてくると思う。これからも皆さまのご協力をお願いします。

大岡地区のワークショップ開催に御協力いただいた皆さまに、改めて厚くお礼申し上げます。

